

# 9-B ミズナラ(水楢)の巨木 ブナ科コナラ属 Quercus mongolica var.grosseserrata

## ■ミズナラの巨木評価基準

- A 幹周おおむね 7.5m 以上の単幹樹、同等評価のミズナラの巨木。
- B 幹周おおむね 5~7.5m の単幹樹、同等評価のミズナラの巨木。
- C B 評価以下のミズナラの巨木。



## ■主なミズナラの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	小黒川のミズナラ 写真 M-001	M7.57m(1.3m 2014)	22m	長野県下伊那郡阿智村清内路	国
A	政板のミズナラ 写真 M-002	M7.55m(1.3m 2015)	20m	岐阜県高山市一之宮町政板	市
B	吾妻のミズナラ 写真 M-003	7.19m	30m	山形県米沢市李山字火焰	なし

評価	巨木名称	幹 周	樹高	所 在 地	天然記念物 指定
B	薬師岳のミズナラ 写真 M-004	M6.16m(1.3m 2014)	20m	秋田県大仙市太田町 真木山国有林	なし
B	薬研洞の大ナラ 写真 M-005	6.9m	25m	岐阜県加茂郡白川町黒川大島	県
B	町営牧場のナラ	7.01m	17m	北海道中川郡池田町東台	なし
B	双葉のミズナラ 写真 M-006	6.47m	19m	北海道網走郡津別町双葉	なし
B	道民の森の大ナラ 写真 M-007	6.4m	25m	北海道石狩郡当別町青山奥三番	なし
B	幌呂開拓記念樹のミズナラ 写真 M-008	6.03m	20m	北海道阿寒郡鶴居村支幌呂	なし
B	最上のミズナラ 写真 M-009	6.0m	18m	北海道網走郡津別町	なし
B	和寒の巨木 写真 M-010	M6.2m(1.3m 2007)	22m	北海道川上郡和寒町字東丘	なし
B	標茶のミズナラ 写真 M-011	5.94m	24m	北海道川上郡標茶町	なし
B	標津のミズナラ 写真 M-012	5.0m	18m	北海道標津郡標津町字伊茶仁	国
	中頓別鍾乳洞のミズナラ 写真 M-013	不明	不明	北海道板谷郡中頓別町旭台	なし
B	岩尾別のミズナラ 写真 M-014	6.0m	30m	北海道斜里郡斜里町岩尾別	なし
B	利尻のミズナラ 写真 M-015	5.0m	18m	北海道利尻郡利尻富士町 利尻山北斜面	なし
B	金山川流域のミズナラ 写真 M-016	5.1m	25m	北海道斜里郡斜里町 金山川流域	なし
B	館越山神社のミズナラ 写真 M-017	M6.1m(0.5m)	25m	青森県むつ市脇野沢字田ノ頭	なし
B	大室山のミズナラ 写真 M-018	6.8m	25m	山梨県南都留郡富士河口湖町本栖	なし
B	小川沢の大ミズナラ 写真 M-019	6.3m	18m	福島県南会津郡只見町小川	なし
B	洗出天然林のミズナラ 写真 M-020	6.2m	32.5m	岐阜県恵那市矢作町上村山	なし
B	金袋山のミズナラ 写真 M-021	6.5m	25m	東京都奥多摩郡奥多摩町日原	なし
B	荘川のミズナラ 写真 M-022	M6.35m(1.3m 2008)	18m	岐阜県高山市荘川町六躰軽岡	なし
B	稲荷神社の神彦 写真 M-023	M5.34m(1.3m 2015)	20m	新潟県妙高市杉野沢 地藏山国有林	なし
B	オブ山のミズナラ 写真 M-024	M5.8m(上部 0.3m 2008)	15m	秋田県大仙市太田町太田	なし
B	カヤノ高原のミズナラ A 株 写真 M-025	M5.37m(1.3m 2009)	15m	長野県下高井郡木島平村カヤノ平	なし
B	〃 B 株 写真 M-026	M6.12m(1.3m 2009)	15m	〃	なし
B	一反ぼうそう 写真 M-027	M5.95m(0.8m 2015)	18m	滋賀県東近江市甲津畑町	なし

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	中禅寺湖北岸のミズナラ(単幹) 写真 M-028	5.7m	25m	栃木県日光市中宮祠	なし
C	〃 (分岐幹) 写真 M-029	株周 6.4m	25m	〃	なし
B	権現様のミズナラ 写真 M-030	5.2m	30m	長野県下伊那郡飯島町七久保	町
B	八幡平神社のミズナラ 写真 M-031	5.0m	25m	秋田県鹿角市八幡平字切留平	市
C	安蔵寺山の大ミズナラ 写真 M-032	4.88m	30	島根県鹿足郡津和野町高嶺芦谷国有林	なし
枯死	深山遊園のミズナラ 写真 M-033	6.76m	不明	長野県北安曇郡小谷村中谷北野	
伐採	加茂神社のミズナラ	株周 8.2m	25m	富山県南砺市利賀島地	
枯死	上谷のミズナラ 写真 M-034	5.63m	35m	京都府京都市左京区芦生上谷	
枯死	別当出合のミズナラ	7.68m	34m	石川県白山市一ノ瀬別当出合	
枯死	有利里の大ナラ	9.0m	不明	北海道名寄市瑞穂	



写真 M-001

日本一のミズナラ

こぐろがわ  
小黒川のミズナラ

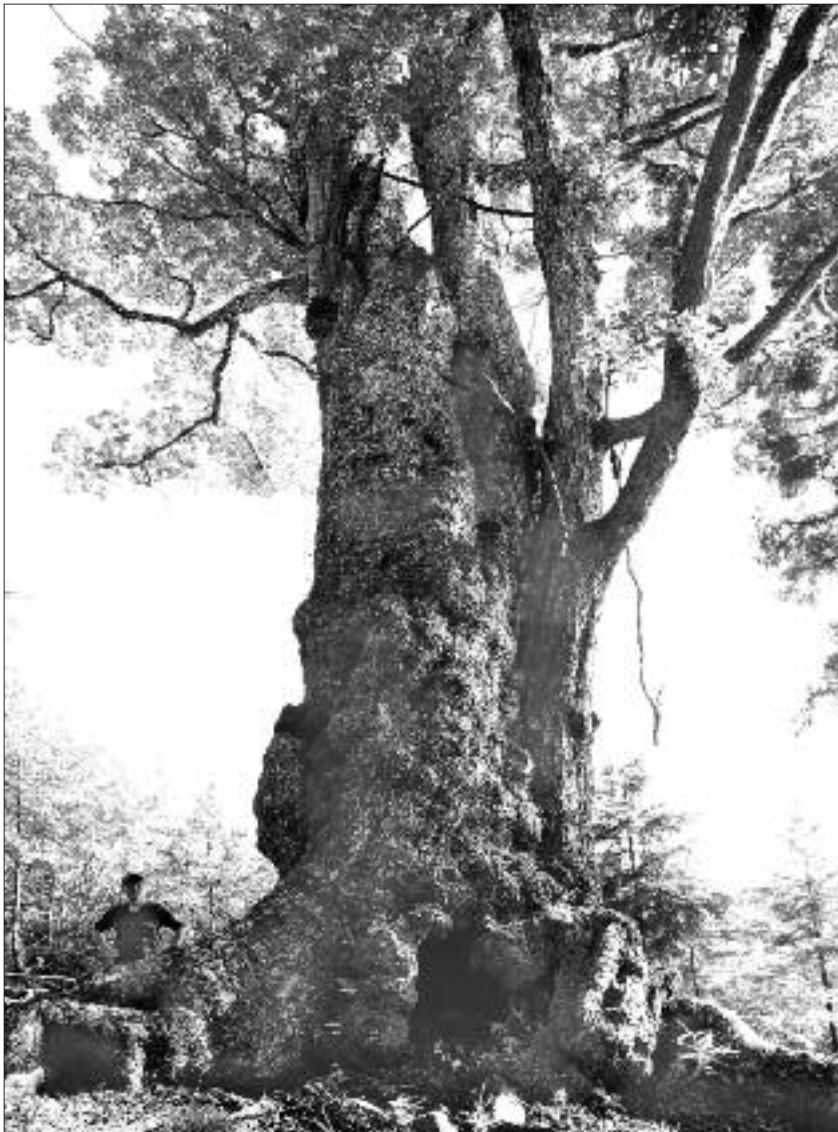
支柱なしで立っていた見事なミズナラであったが、2012年6月北幹が折れ、大きく樹形が破損した。二年後に調査したが、補修され、幹周に変化がなく、日本一の座を守った。



▲折れた時の画像(阿智村提供)▼2014年の全景







◀写真 M-002

日本一タイのミズナラ

まさいた  
政板のミズナラ

2015年の調査で、小黒川のミズナラと同格と判明して、日本一タイになった。ダムから進入路が整備されているが、途中で崩壊して、到達困難。杉林と雑木林の境にあり、2～4mで3分岐し、コブが多い主幹と、新しい側幹が根元近くで融合した樹形で、根元には大きな空洞がある。



▲写真 M-003

あづま  
吾妻のミズナラ

大平温泉から急な吾妻山登山道を標高差150m登った尾根に立つ見事な単幹樹である。(写真・Web画像)



写真 M-005▶

やげんぼら  
薬研洞の大ナラ

登山口から荒れた山道を15分登ると、山の斜面に立つ。

(写真・Web画像)



◀写真 M-004

やくしだけ  
薬師岳のミズナラ

薬師岳の登山道入口から10分程登った台地に立ち、4mで3分岐する三頭木。そのため、伐採から逃れたものか。主幹は空洞化し、縦に大きく割目が走り、倒木寸前。





▲写真 M-006

双葉のミズナラ

昭和61年に道有林の中で偶然発見されたという。(写真・Web画像)



▲写真 M-007

道民の森のミズナラ

道民の森の散策コース、徒歩15分程。地元では樹齢471年。(写真・Web画像)



▲写真 M-008

幌呂開拓記念樹のミズナラ

(写真・Web画像)



▲写真 M-009

最上のミズナラ

最上地区の道有林の中に立つ。「つべつの御神木」と言われている。(写真・Web画像)



▲写真 M-010

和寒の巨木

国道から林道に入り5.4km、整備された山道を200m入ると広場の中央に立つ。上部10mで2分岐し、天を突くように伸びる見事なミズナラである。

▼写真 M-013

中頓別鍾乳洞のミズナラ

ふれあい公園の中、第4洞近くに立つ。(写真・Web画像)



▲写真 M-011

標茶のミズナラ

標茶町と釧路町の境、国道272号線から少し入った国有林にある。(写真・Web画像)

▼写真 M-012

標津のミズナラ

ポー川史蹟自然公園の中に立つ。(写真・Web画像)

▼写真 M-014

岩尾別のミズナラ

岩尾別川本流を沢登りで登った山の台地に立ち、幹は裂け、満身創痍の状態である。(写真・Web画像)







▲写真 M-015

利尻のミズナラ

利尻山の標高500m北斜面にあり、地元  
の守り神となっているが、道はない。

(写真・Web画像)



▲写真 M-016

金山川流域のミズナラ

知床の鯉沢林道の奥、標高400m  
付近の尾根の台地に立つ。

(写真・Web画像)



▲写真 M-017

館越山神社のミズナラ

1mで5分岐樹形で、大きく枝葉  
を広げている。(写真・石田徹)



▲写真 M-018

大室山のミズナラ

富士山麓にある大室山のブナ原生林の中  
に立つ根張りの見事な単幹樹である。

(写真・Web画像)



▲写真 M-019

小川沢の大ミズナラ

(写真・Web画像)



▲写真 M-020

洗出天然林のミズナラ

高原にある大船牧場の近くの遊歩  
道中に立つ。(写真・原一興)

▼写真 M-021

金袋山のミズナラ

日原の石山神社から登り、標高  
1100m付近に斜上するように立っ  
ていたが、近年主幹が折れた。

(写真・Web画像)



写真 M-022▶

荘川のミズナラ

荘川のヒノキやヒメコマツがある天  
然林の奥に立つミズナラで、ヒノキやヒ  
メコマツと同様、これも古株更新の珍し  
いミズナラである。







▲写真 M-023  
稲荷神社の神彦

「地藏桂」のある夢の平遊歩道に入ってしばらく、稲荷神社の両サイドにミズナラの御神木があり、向かって右が「神彦」左が「道彦」という。神彦は斜上するので、幹周は中心線に直角に測定した。



▲写真 M-024  
オブ山のミズナラ

オブ山の杉への登山道途中の斜面にあり、主幹上部が破損しているが、残った幹は迫力がある。



◀写真 M-025  
カヤノ平のミズナラ A 株  
カヤの平のロッジ  
駐車場傍に立つ見事なミズナラ。



写真 M-026▶  
カヤノ平のミズナラ B 株

A 株から牧場の際に沿って何本かのミズナラの巨木があり、一番端が幹周が最も大きい、内部は空洞化している。

▼写真 M-027  
一反ぼうそう

「ぼうそう」とは、とんでもなく大きな木で、樹冠が一反(30m 四方)ある巨木と言う意味。古道・千種街道の峠近く、標高 925m の斜面に立つ。枯死寸前で、上部の枝が少し生きているのみ。







▲写真 M-028  
ちゅうぜんじこ  
 中禅寺湖北岸のミズナラ(単幹)  
 二荒山神社近くに立つ単幹樹。  
 (写真・石田徹)



▲写真 M-029  
ちゅうぜんじこ  
 中禅寺湖北岸のミズナラ(分岐幹)  
 左のミズナラより上流側に立つ分岐幹ミズナラで、1~2mで多数に分岐する。(写真・石田徹)



▲写真 M-030  
ごんげんさま  
 権現様のミズナラ  
 (写真・石田徹)



▲写真 M-031  
はちまんたいら  
 八幡平神社のミズナラ  
 簡素な神社の横に立ち、1~2mで多数に分岐する樹形。(写真・石田徹)



▲写真 M-032  
 安蔵寺山のミズナラ  
 森の巨人たち百選のミズナラ。  
 (写真・Web 画像)



▲写真 M-033  
みやまゆうてん  
 枯死・深山遊園のミズナラ  
 (写真・Web 画像)

▼写真 M-034  
 枯死・上谷のミズナラ

芦生原生林の奥深く、野田畑湿原から奥の谷にあった。  
 (写真・Web 画像)



※ミズナラの巨木の多くは天然で、知られている巨木は山道沿いにある。しかし、道の無い山中には知られざる巨木が多く存在し、積雪期に発見されるが、この時期葉がないため、樹種の特定が困難なため、発見が遅れる。今後、新発見が期待される。

▼鏡ヶ成の巨大ミズナラ  
 (写真・Web 画像)



▼大山障子ヶ滝下のミズナラ  
 (写真・Web 画像)

